

医薬品情報認定薬剤師到達目標及び認定のエビデンス

医薬品情報認定薬剤師は、医薬品情報に関する高度な知識、技能、倫理観をもち、適切な医薬品情報に基づき、適正な医薬品の使用を担い、もって医療の質の向上に貢献することを目的とする。							
定義	到達目標			認定のエビデンス			
	ジャンル	内容	研修内容(養成型)	単位	試験	申請書類	
以下の資質を有する薬剤師を医薬品情報認定薬剤師とする。	到達目標番号	薬剤師免許	-	-	-	薬剤師免許	
1. 医薬品情報源の特性を理解し、その検索・調査ができる。	1-1	医薬品情報の特性の知識 1-2 医薬品情報源の特徴、検索、調査	・医薬品の開発から市販後に至る流れ(非臨床試験、臨床試験、承認審査、市販後など)を理解し、そこから発生する情報を具体的にリストアップし、それぞれの特性を説明できる。 ・上記情報を入手するための情報源が特定でき、調査できる。 ・目的(効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、スペシャルポピュレーション[妊婦・授乳婦など]への投与、中毒など)に合った適切な情報源の選択と、検索、収集ができる。	[講義・演習]医薬品情報の特性と医薬品情報源の特徴、検索、調査	4	演習試験、客観試験	・教育セミナー演習受講証明書 ・従事証明書
2. 適切な医薬品情報を根拠に基づいて評価し、目的にあわせて加工・提供ができる。	2	根拠に基づいて情報を評価できる知識・技能	・効能効果、副作用、相互作用、薬剤鑑別、スペシャルポピュレーション[妊婦・授乳婦など]への投与、中毒などの問題について収集した情報の評価ができる。	[演習]根拠に基づいた情報の評価(有効性、安全性)	4	演習試験 客観試験	・教育セミナー演習受講証明書 ・医薬品情報活動の記録
3. 医薬品情報を活用するために必要なコミュニケーション、プレゼンテーション能力を有する。	3-1	コミュニケーション能力	・リスクコミュニケーションについて説明できる。 ・多職種コミュニケーションが円滑に行える。	-	-	客観試験	・教育セミナー演習受講証明書 ・医薬品情報活動の記録
	3-2	プレゼンテーション、ライティング能力	・事例(安全性対策文書、症例報告など)を要約し、的確な報告書を作成することができる。	[講義]症例の要約、副作用報告書などの作成	4	客観試験	・教育セミナー演習受講証明書 ・医薬品情報活動の記録
4. 医薬品情報に関連する医療制度、関連法規、専門用語について理解している。	4	医療制度、関連法規、専門用語の知識	・医薬品情報に関する代表的な法律をリストアップし、説明できる。 ・医薬品情報に関する代表的な制度をリストアップし、説明できる。 ・医薬品情報にかかわる専門用語を説明できる。	-	-	客観試験	-
5. 医療倫理及び情報倫理(知的財産権の遵守など)を有している。	5	倫理	・医薬品情報の取り扱いについての医療従事者に求められる倫理的対応について説明できる。	-	-	-	所属長の推薦
合計					12		